

10月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 0.0km~7.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	令和 5年 10月 4・8・10・19・25・27日	実施区間	上塚橋から河口

環境に関する報告 矢作大橋から河口周辺まで(右・左岸)  
2023. 10/4. 19. 25



10/4 オオキンケイギクの咲き終わる6月頃、サクラ堤にある駐車場、(高水敷)、に特定外来生物であるハルシヤギクが大繁殖していたがその後、除草剤を使用したような不自然な枯れかたをしていたことを7月に報告している。9月にはイネ科やカヤツリグサ科の雑草が生え始め、見た目の景観は回復してきた。しかし、10月に入って再び除草剤を使用したような枯れ方をしていた。部分的に枯れずに残っていたのは、ナス科の外来植物であった。



枯れずに残っていた外来



草刈りが進む裏法



部分的に草刈りされている表法面



雑草が生い茂る階段

10/19 秋の草刈り作業が始まっていた。裏法面はかなり作業が進んでいたが、表法面は河口からの距離を示す表示付近と部分的に道路との境目が草刈りされているだけであった。また、表法面のいくつかの階段は、高水敷きに降りることのできないほど雑草が繁茂しており、全く水辺に近づくことができない。多くの雑草が種をつけ始めているのでタネを落とす前に刈り取ると次年以降作業が楽になると思われるので是非とも早く作業を進めて欲しいと感じている。



10/25 上塚橋を通過する時に、左岸のヨシ原再生に取り組んでいる場所に、不法投棄があるように見えたので、近づいていくと、先ほど誰もいなかったのに人影が見えた。ゴミをわざわざこんな目立つところに運んでいるのかと思って、さらに近づいていくと、ヨシの影からバケツや網を持った何人の方が出てきた。話を聞くとヨシ原が育っていくと、どのように生物相が変わっていくのかを調べる生物の調査中であった。不法投棄物に見えたのは調査用のバケツやタモ、計測機器であった。とても地道な作業ですが、こういったデータの積み重ねがとても大事であると感じた。



10月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 0.0km~7.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	令和 5年10月 4・8・10・19・25・27日	実施区間	上塚橋から河口

不法投棄に関する報告

矢作大橋から河口周辺まで(右岸)

2023.10/8.10.19.25.27



10/8 大きなポリ袋のごみ



10/10 破損した船

10月 8日 柵尾橋下流に大きな袋に入れられたゴミが落ちていた。

10月10日 矢作川大橋周辺から河口付近にかけて、破損した船舶やドラム缶ポリタンク、多数の梯子が見られた。船外機には撤去のお願いが書かれた告知看板が立てられていた。



10/10 破損した船



10/10 ドラム缶



10/10 大きなポリタンク 2



10/10 撤去指示の看板と船外機



10/10あちこちに階段・梯子がある



10/10 川底に脚立が沈んでいた

10月19日 桜堤の駐車場入り口に大きな練炭火鉢が置かれていた。月初めには無かったので最近、置かれてものであると思われる。

10月25日 部分的に草刈りされた表法面に昨月末に投棄されたもので、一か所みまもめられ撤去告知が貼られていた。

10月27日 裏法面の草刈りによって新たに見つかった不法投棄物と思われるものが道路わきに置いてあった。



10/19 大きな練炭火鉢



10/25 撤去指示の貼られた不法投棄物



10/27 草刈り時に出てきたものと思われるゴミ